## 水の塔山・篭ノ登山山行報告

【山 行 日】2018年8月12(日) 曇り時々晴れ

【集 合】岩舟支所 P AM 5:00

【費 用】マイカ―2台: 4,100円

【メンバー】CL:鈴木ユ、 岩渕、石澤、島田、関、

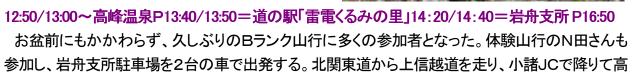
田村ヤ、鶴見、福島、福田タ、渡辺ト、成田(体験)

【コースタイム】岩舟支所 P5:00=高峰温泉P

7:20/7:40~水の塔山 8:50/9:00~東篭ノ登山

9:50/10:10~兎平 10:50/11:00~見晴岳

11:30/11:40~池の平 12:00/12:30~兎平





峰温泉を目指す。車坂峠から林道を進み、高 峰温泉前の登山者用駐車場に車を止める。

登山靴に履き替えトイレを済ませ、登山口に移動しストレッチを行ったら出発する。カラマツ林の中を登り始めて間もなく、ウグイス展望台と呼ばれる場所で休憩し衣服調整をする。

空は曇り空でガスが掛かるが、時折薄日が差 し明るくなってきた。展望台からは、砂礫の道 を踏んで尾根道を歩き水ノ塔山へ向かう。

登るにつれ展望が良くなり、ガスで遠望は利かないが高峰山や下の林道が見えてくる。

カラマツ林を抜けると、岩交じりの登山道となりやがて露岩を越えて登るようになる。段々と傾斜がきつくなり、大きな岩を越えると傾斜が緩くなり水ノ塔山の山頂に着く。水ノ塔山はおよそ山頂らしくない山で、山頂標識が無ければ通過してしまいそうな山頂だ。休憩を取りパイナップルや菓子を食

べ、エネルギーを補給する。水ノ塔山からは稜線の北側を、岩や木の根で歩きにくい道を進み崩壊地の上に出る。赤ゾレと呼ばれる崩壊地の一部で、所々こうした場所を通過する。

そのまま緩やかに下り、鞍部から東篭ノ登山 への登りになる。針葉樹林の急坂を登ると明 るい草地の登りとなり、ほんのひと登りで広々 とした山頂に出る。山頂からは360度の大パ ノラマが広がり、北アルプスは見えないが南 側には池の平や三方ヶ峰、西側には西篭ノ登



山や湯の丸山が望める。山頂で大休止し、展望を楽しみながら」渕さんの誕生日を祝った。

誕生祝のチーズケーキを切り分け、参加者の皆さんでハッピーバースデーを合唱する。展望を楽しんだら池の平に向かって下山する。岩がゴロゴロした歩きにくい道を下り、樹林帯の道になると傾



斜が緩くなりカラマツ林を抜け、林道に出たところが兎平だ。広い駐車場とトイレがあり、自然保護管理費として一人50円協力する。トイレを済ませたら東屋に移動し、休憩して果物や菓子を食べこれからの登りに備える。F田さんとS田さんは見晴岳に登らず、池の平湿原の休憩所に向かい、残りの9名は見晴山を目指す。カラマツ林の中を緩やかに登り、途中にお花畑が何ヶ所か有り、ヤナギランやタカエネマツムシソウ、ハクサンフロ等の花が咲き目を楽しませてくれる。

村界の丘や雷の丘、雲上の丘などの展望所ポイントがあり、池の平や篭ノ登山、湯の丸山から烏帽子岳等の展望が得られる。花々や展望を楽しみながら、疲れることなく見晴岳山頂に着く。

見晴岳から少し戻り池の平へ向かうと、右側の砂礫地にコマクサが咲いていた。盛りは過ぎていたがピンクの可憐な花が見られ、皆さん大喜びし「初めて見ました」と感動していた。三方ヶ峰方面へ向かって稜線を歩き、途中の分岐から左に下り池の平湿原に降りる。湿原の木道に降りたら右に進むと、ベンチがある休憩所あり F 田さんと S 田さんが待っていた。ここでランチタイムとし、冷やし中華の準備をする。流水麺を氷水で冷やし、ザルにとって水



気を切り皿に取り分ける。キュウリやハム、カニカマなどの千切りをトッピングし、タレを掛ければ完



成する。時間も掛からず、暑い夏にはうってつけのランチだ。K 澤さんお手製の肉団子もトッピングされ、皆さんとても美味しいと大好評だった。

昼食が済んだら湿原を横断し、兎平の休憩所に戻る。トイレを済ませ、残った菓子や果物を食べたら 林道を歩き高峰温泉に戻る。お花を見ながら楽しい会話が弾み、途中ヨツバヒヨドリの花にアサギマ ダラを見つけ大興奮。賑やかに歩いて、高峰温泉 の駐車場に戻った。靴を履き替え、トイレを済ませ たら帰路につく。「道の駅に寄りたい」と言う声があ

り、道の駅「雷電くるみの里」に寄り、野菜やお土産を購入する。ご褒美のソフトクリームを食べたら 出発し、岩舟支所に向け高速道に乗る。途中、北関東道で先月オープンしたばかりの太田強戸 PA に寄り、予定通り岩舟支所に帰着した。